

500-7000系「こだま」リニューアル



◆実車ガイド

- 500系はJR西日本が開発した東海道・山陽新幹線用の車両で航空機を連想させるシャープでスマートな形状が特徴の新幹線です
- 500系7000番代は2008年より山陽新幹線のこだま用として改造された車両で、編成を8両に短縮しパンタグラフとカバーの形状が変更されました

【文責:トミーテック】

◆製品化特徴

- 山陽新幹線区間で活躍中の500系こだま用車両を再現
- 新モーター(M-13)採用
- 車番は選択式で転写シート付属
- フック・U字型通電カプラー採用
- 可動幌装備
- ヘッド・テールライトは常点灯基板装備
- ヘッドライトは電球色LED、テールライトは赤色LEDによる点灯
- パンタグラフ・パンタグラフカバー形状を再現
- 526-7200形の車掌室窓枠は銀色で再現
- 528-7000形と525-7000形のケーブルヘッドは別パーツ付属
- ジョイントカバー付属
- フライホイール付動力、新集電システム、銀色車輪採用

＜特記事項＞

- ＜92815＞は生産中止となります
- 【原産国:日本】

＜別売りオプション＞
室内灯:＜0733＞LC(白色)

●並べて楽しめるお薦め商品●



N700-4000系

好評発売中



N700S確認試験車

好評発売中

■セット内容・編成例



品番	98710	品名	JR 5007000系山陽新幹線(こだま)セット	セット両数	8両
発売月	2020年10月	JANコード	4543736987109	予価	¥21,800(税抜)

JR西日本商品化許諾申請中

懐かしの旧型国電72・73形をリニューアル!



◆実車ガイド

- 72・73形は63形電車の改良車として登場し、当時の東京・大阪都市圏における通勤型電車の標準型として活躍しました
- 101・103系登場後は順次ローカル線の17m級車両の置き換え用として転用され、旅客営業用車両としては1985年まで活躍しました
- 京浜東北線の72・73形は5両編成と3両編成を併結した8両編成で1971年まで活躍しました

【文責:トミーテック】

◆製品化特徴

- ＜共通＞
- ハイグレード(HG)仕様
 - 新モーター(M-13)採用
 - ベンチレーターは選択式
 - ヘッド・テールライトは常点灯基板装備、ON-OFFスイッチ付
 - ヘッド・テールライトは電球色LEDによる点灯
 - 運行番号表示部は電球色LEDによる点灯で印刷済みパーツ付属
 - 印刷済み前面用サボ受けパーツ付属
 - 車番は選択式で転写シート付属
 - フライホイール付動力、新集電システム、黒色車輪採用
 - TNカプラー(SP)標準装備

＜98377＞について

- 側面は3段窓、ドア窓はHゴムの姿を再現

＜98378＞について

- クハ79偶数車(354～420番)を組み込んだ編成で再現

【原産国:日本】

＜別売りオプション＞
室内灯:＜0734＞LC(電球色)

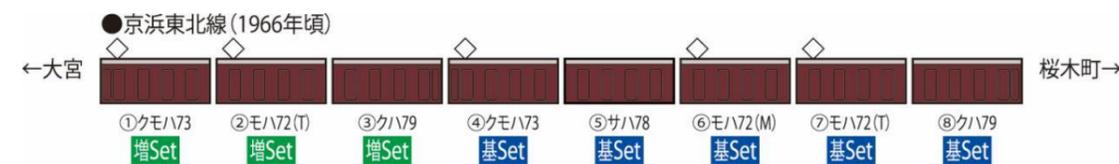
●並べて楽しめるお薦め商品●



103系 非冷房 各種

好評発売中

■セット内容・編成例



品番	98377	品名	国鉄 72・73形通勤電車基本セット	セット両数	5両
発売月	2020年9月	JANコード	4543736983774	予価	¥20,100(税抜)
品番	98378	品名	国鉄 72・73形通勤電車増結セット	セット両数	3両
発売月	2020年9月	JANコード	4543736983781	予価	¥11,900(税抜)